



# あすなる薬局だより

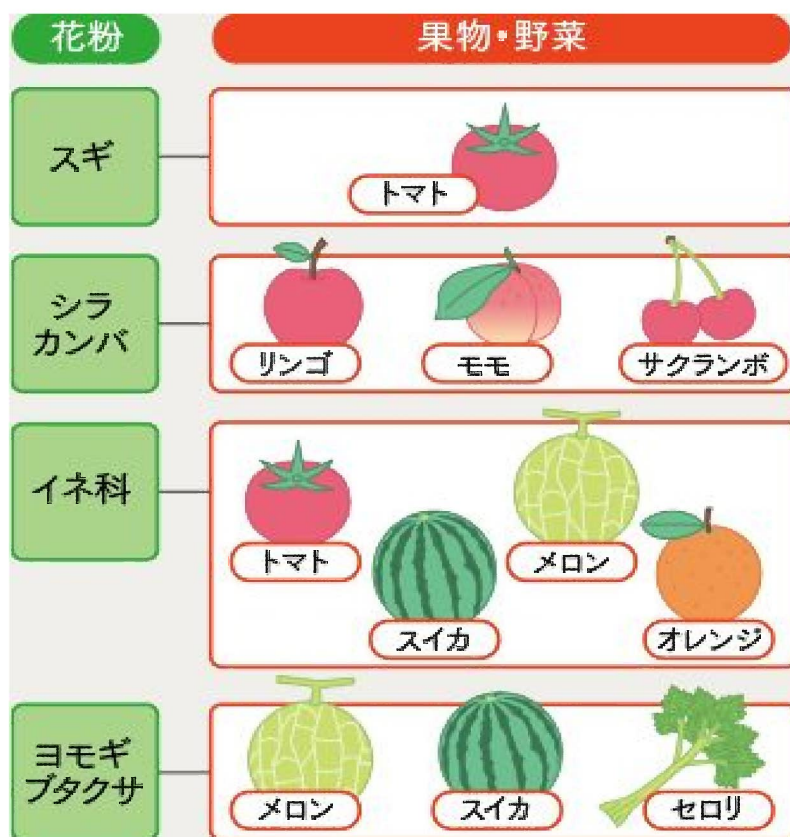
## 花粉症と口腔アレルギー症候群

2017.2

現在、日本人の約25%が花粉症だといわれています。有名なのはスギやヒノキですが、日本では約60種類の植物が花粉症を引き起こすと報告されています。これらの植物の花粉が原因となって、くしゃみ・鼻水・目の症状（かゆみ、涙、充血など）を伴う場合が多く、その他にのどのかゆみ、皮膚のかゆみ、熱っぽい感じなどの症状が現れることがあります。分かる人には辛い症状ですよ。最近では、ある果物や野菜を食べると、口の中がかゆくなり、腫れたりする「口腔アレルギー症候群（OAS）」という症状もあります。

これは、果物や生野菜に含まれるアレルギーを起こす原因物質（アレルゲン）が、口の中の粘膜に触れて起こるアレルギー反応で、体内のアレルギー物質に対する抗体が関係しています。生野菜や果物のアレルゲンは花粉のアレルゲンと構造が似ているので反応してしまい、口腔内でもアレルギーが起こることがあります。これを「交差反応」と言います。

しかし、このアレルゲンは小腸に到達する前に壊れるため、主に口の中だけで反応が起きます。



図：口腔アレルギー症候群を起こす食べ物と花粉の関係の一例

### 口腔アレルギー症候群への対策

花粉症で口の中に症状がある場合には、医療機関を受診し、アレルギーの原因となる食物を確認し、避けるのが基本です。ただ、口腔アレルギーを起こす果物や生野菜のアレルゲンは熱に弱く、加熱すれば食べることができることもあります。症状のあらわれ方にもよりますので、お医者さんに相談してみましょう。マスク・メガネなど花粉対策もお忘れなく！

お近くのあすなる薬局にご相談ください。

どこの病院・診療所の処方せんにも対応できます。（お薬によっては時間がかかることがあります）  
薬・健康食品・サプリメント等についてのご相談を受け付けています。

（甲府）055-228-4024（巨摩）055-283-3050（石和）055-263-1568（武川）0551-26-3800（大月）0554-20-1301